

平成19年度 **元気とやま!仕事と子育て両立支援企業**をご紹介します! **第1回**

富山県では、去る8月30日(木)に富山県民共生センターで開催された「元気とやま!仕事と子育て両立支援セミナー2007」で、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに積極的に取り組み、その成果をあげている県内企業を表彰しました。

今年度の受賞者は、(株)富山富士通、(株)あつみファッション、オーアイ工業(株)、(株)岡部、社会福祉法人毅行福社会中加積保育園、社会福祉法人福岡福祉会特別養護老人ホームアルテン赤丸、社会福祉法人めぐみ福祉会めぐみ保育園です。今月から表彰された企業の取り組みについて紹介していきます。第1回は、株式会社岡部さんです。なお、県内企業の取り組みが進んできたため、今年度から表彰企業数を7社(昨年度までは5社)に拡大しています。あなたの会社でも、表彰企業の取り組み事例を参考にできることから取り組んでみませんか?

株式会社 岡 部

所在地: 富山市 職員: 77名

業種: 建設業 (男性65名 女性12名)

HPアドレス: <http://www.okabe-net.co.jp>**株式会社岡部の主な取り組み****☆賃金カットなしの短時間勤務制度!?**

(株)岡部では「人材」は「人財」という考えのもと、働き続けることのできる職場環境づくりを行っています。その一環である短時間勤務制度は、小学校就学の始期まで利用可能。しかも1歳半までの子を養育する労働者には、賃金カットを行いません。

「働いていないのに賃金カットしないのですか?」そういう意地悪な質問に対し、管理職の方は「7時間で8時間分の仕事をしてきている」と自信を持ってお答えくださいました。制度利用者は「その気持ちに答えるため、一生懸命働く」。(株)岡部にはそういう良い関係があります。

☆工夫したノー残業デー!

ノー残業デーを作ったはいいいけれど、なかなか機能しない。他ではそういう声も聞かれます。そこを(株)岡部では工夫しました。

まず、期間を決めたノー残業デーの実施。仕事が増える時期に限り、ノー残業デーを設定することで、メリハリをつけています。

また、ノー残業デー当日には、管理職が職場を見回り、残業している者に声をかけるなど帰りやすい雰囲気づくりを行っています。

☆育休中もアクセス可能!社内システム!

育休中に、仕事からの疎外感を感じ、職場復帰に不安を抱えておられる方もおられます。(株)岡部では、家庭から社内システムにアクセスすることで、現在の会社の情報をリアルタイムに把握することが可能。常に会社を身近に感じることができるので、不安も解消されます。

利用者の声

小田由紀さん
(土木工事積算担当
短時間勤務利用中)

出産後7ヶ月で職場復帰し、以降短時間勤務を利用しています。私だけ早く帰るので周囲の人に申し訳なく、また周囲の方に助けてもらっているので、なるべく負担をかけないように勤務時間中(特に午後)はかなり集中して仕事をしています。

早く帰れることで、子どもに食事を作ってあげられるし、子どもとの時間がしっかり持てます。子どもが保育園に入るまでは、この働き方を続けるつもりです。また、後輩が仕事を続けやすいよう、まずは私が頑張らないといけないと思っています。

奥村慎一郎さん
(施工管理担当
ノー残業デー活用法)

ノー残業デーの土曜日は早く帰れるので、子どもを風呂に入れることにしています。平日は遅くなりがちで、子どもと接することができない分、この日がとても楽しみ。そのため、「今日はここまで」と終わりを決めて仕事をしています。このやり方が、平日にも応用できて、エンドレスで残業することはなくなりました。

現場にいたときも、上の人が「帰るぞ〜」と声をかけてくれたので帰りやすく、独身の頃は、早く帰れることが分かっているこの日に、よく飲み会等の予定を入れていました。(今は子どもを中心に充実した週末を過ごしています!!)

子どもが生まれてからは、常に早く帰りたいたと思っています。そのためにも、無駄な残業はしませんし、残業が必要な時も頑張って仕事をして早く帰れるようにしています。



▲奥村さんと絆那(はんな)ちゃん(6ヶ月)



▲小田さんと洋輔くん(1歳4ヶ月)